

令和4年度 第2回 市川市博物館協議会 会議録

日 時：令和5年3月17日（金）午後2時から

場 所：市立市川歴史博物館 2階 講堂

出席者：協議会委員

白井 久美子 櫻庭 秀喜 浅川 潤一 大橋 弥生、  
富田 勇人 滝口 正哉 池谷 佳子 田邊 由美子  
福岡 直子 藤村 淳 松田 陽 山田 耕生

考古博物館： 館 長 杉山 元明  
主 幹 堀 邦光 主 査 小川 健太郎  
学芸員 領塚 正浩 学芸員 山路 直充  
歴史博物館： 学芸員 小野 英夫  
自然博物館： 館 長 久保 賢二 学芸員 金子 謙一

傍聴者：なし

館 長 ： 本日は年度末のお忙しいところ、ご出席くださりありがとうございます。  
国の方針により、3月13日からマスク着用は個人の判断となりましたが、  
本日の協議会ではマスク着用で行いたいと考えております。  
よろしく申し上げます。

**【事務局 配布資料の確認】**

小川主査 ： 続きまして、白井委員長よりご挨拶をいただきたいと思ひます。  
白井委員長、よろしく申し上げます。

**【白井委員長挨拶】**

小川主査 ： ありがとうございます。  
それでは、「市川市立博物館の設置及び管理に関する条例」第12条第1項  
の規定により、協議会の会議の議長は、委員長が行うこととされております  
ので、これより先、白井委員長に議事運営をお願いいたします。

白井委員長： では、会議に入る前に会議の成立、公開について事務局から申し上げます。

小川主査：開会にあたり15名中12名の委員が出席されておりますので、「市川市立博物館の設置及び管理に関する条例」第12条第2項の会議開催規定「委員定数の過半数以上の出席」という条件を満たしていますことから、この会議は成立しております。次に会議の公開についてですが、市川市では協議会等の会議の「公開」・「非公開」の決定について、議事に先立ち、決定することとなっております。事務局では、本日の会議を「公開」とすることを考えております。

白井委員長：本日の会議は「公開」とすることよろしいでしょうか。

委員(全員)：異議なし

白井委員長：本日の会議は「公開」と決定しました。  
傍聴を希望される方はいらっしゃいますか。

小川主査：はい、傍聴される方はおりません。

白井委員長：これより、「令和4年度 第2回 市川市博物館協議会」を開催します。  
本日の会議の内容は、報告事項が2件と企画展の見学となっております。  
では、事務局より、報告事項の「令和3年度 事業実施状況対する外部評価について」の説明をお願いします。

堀 主幹：私からは、令和4年8月9日(火)に開催いたしました第1回 博物館協議会での外部評価を受けての最終報告をさせていただきます。  
お手元に配布しました会議資料、「令和3年度 事業実施状況に対する外部評価」をご覧ください。  
この評価は、前回、6つの事業種別に対し3館において「館別自己評価」及び「総合自己評価」を行いましたところ、各委員の皆様のご意見をまとめさせていただきます、再評価したものでございます。

まず、1点目「収集・保管及び調査研究事業」についてで、ございます。  
委員の皆様より「自然博物館のスライドフィルムのデジタル化において、まだまだ遠いゴールを見据えてのC評価とのことですが、年度ごとの評価として考えれば少しずつ進んでいるので、B評価でよいのでは」とのご意見をいただきました。

このことから、自然博物館は外部評価で「B」に修正させていただきました。

なお、総合外部評価は総合自己評価同様「B」で変更はありません。

次に、2点目「展示事業」についてで、ございます。

委員の皆様より「考古・歴史博物館では、コロナ禍で制限のある中、できる範囲で企画展や常設展示等を工夫して行っていた。」

また、「自然博物館では、ホームページやSNSなどWeb上で展示情報を数多く発信していた。」などのご意見をいただきました。

このことから3館ともに外部評価で「A」に、また、総合自己評価「B」も総合外部評価では「A」に修正させていただきました。

次に、3点目「市民向けの教育普及事業」についてで、ございます。

委員の皆様より「考古・歴史博物館では、夏休みスタンプラリーの開催、ボランティア研修においてはボランティアの育成に努め、コロナが収束後の事業開催に向けての準備を行っていた。」「歴史博物館では、市民向けの資料などの紹介をSNSで日々発信していた。」また、「自然博物館では、展示用に作成した普段みることができない大町公園内の長田谷津の草木や哺乳類の様子動画などをユーチューブにアップし、Web上で疑似体験できる取り組みを行っているのは評価に値する。」などのご意見をいただきました。

このことから3館ともに外部評価で「B」に、また、総合自己評価「C」も総合外部評価では「B」に修正させていただきました。

次に、4点目「学校関連の教育普及事業」についてで、ございます。

委員の皆様より「コロナ禍により制限のある中でも、かなり積極的に3館ともに実施されていた。」とご意見をいただきました。

なお、館別及び総合自己評価同様、外部評価及び総合外部評価ともに、「B」で変更はありません。

今後も、各学校から要請があれば、適宜、対応していきたいと考えております。

次に、5点目「地域連携の教育普及事業」についてで、ございます。

委員の皆様より「歴史博物館でも市川博物館友の会の展示や資料調査活動に十分にご協力していただいたので、考古博物館同様の評価ができる。」とご意見をいただきました。

このことから、歴史博物館は外部評価で「A」に、また、総合自己評価「B」も総合外部評価では「A」に修正させていただきました。

今後も、各公民館や市民団体から要請があれば、適宜、対応していきたい

と考えております。

最後になりますが、6点目「博物館の運営事業」についてで、ございます。委員の皆様より「自然博物館においては、年報の発行ができていなかったが、全体の評価としては、「B」相当と考えられる。」とのご意見をいただきました。このことから、自然博物館は外部評価で「B」に、また、総合自己評価「B」も総合外部評価では「A」に修正させていただきました。

なお、今後の博物館における事業の運営につきましては、各委員の皆様からの貴重な意見等をいただきながら、また市民からのニーズも的確に捉え、博物館がより幅広い世代にご利用いただけるように努めてまいりたいと考えております。長くなりましたが、報告については、以上でございます。

白井委員長： ありがとうございます。  
ただいま事務局より報告がありました、「令和3年度 事業実施状況に対する外部評価」につきましては、各委員のご意見を活用いただき、博物館の円滑な業務運営を引き続きお願いいたします。  
それでは事務局より次に「令和5年度 館別事業計画」の説明をお願いします。

領塚学芸員： 考古博物館について主な事業計画をご説明します。  
はじめに「収集・保管及び調査研究事業」については、当館の文化財の部署と連携しまして曾谷貝塚の史跡の総括報告書を来年3月の刊行に向けて作成しております。次に「展示事業」については、8月の館務実習と合わせて「直刀展」を実施する予定です。  
次に「市民向けの教育普及事業」については、10月に博物館講演会を千葉大学の兼岡教授を招き、また、3月には新潟医療福祉大学との共催によりシンポジウム形式で「姥山貝塚の5体の人骨の謎に迫る」というイベントを開催する予定です。また、市川歴史カレッジに代わって新たに市川歴史セミナー（全8回 座学6回 見学会2回）を歴史博物館学芸員と共同で行います。  
次に「学校関連の教育普及事業」については、小学生向けの縄文体験学習が4月から始まりますが、今までコロナ禍により出張中心で行ってまいりましたが、当館に来館され体験できるか状況をみながら再開を検討したいと考えております。次に「地域連携の教育普及事業」については、地域まつりの再開の話がありますので再開すれば地域に貢献したいと考えております。最後に「運営事業」については、例年通りになっております。

考古博物館の主な事業計画は以上となります。

小野学芸員： 歴史博物館について主な事業計画をご説明します。  
はじめに、「収集・保管及び調査研究事業」については、資料整理のデータベース化に向けて、古文書の目録作りなど中心に行ってまいります。  
次に、「展示事業」については、企画展として「開館40周年記念企画展 みなさまと歩んだ博物館」というタイトルで、これまでの歴史博物館の企画展に用いた収蔵資料等を中心に、博物館の歩みを振り返って紹介しようと考えております。開催期間は、今年の7月22日から9月10日までとなっております。  
次に「市民向けの教育普及事業」については、市川歴史セミナーやナイトミュージアムなど考古博物館学芸員と協同して行ってまいります。  
次に「学校関連の教育普及事業」については、コロナ禍の状況が改善されてきたことから、依頼があれば対応してまいります。  
次に「地域連携の教育普及事業」及び「運営事業」については、例年通りになっております。歴史博物館の主な事業計画は以上となります。

金子学芸員： 自然博物館について主な事業計画をご説明します。  
はじめに、「収集・保管及び調査研究事業」については、先日、文化庁の新しい博物館法に関連した講演がありました。その中で10年後、収蔵資料のデータがインターネット上で見られない博物館はありえないだろうという話があったため、全部ではなくて整理のついたものからデジタルデータとしてインターネット上で誰もが使えるように準備を進めてまいります。早ければ来月にも一つ二つのデータをお出しできるかもしれません。  
また、大町公園の長田谷津各種調査では、なぜあんなに自然が残されているのか、そのことは単に生物だけではなく、社会科学的なことも含めて背景に興味をもってください大学がいくつかございます。  
したがって、博物館という枠よりもっと大きい枠で大町公園の状況を発信できればと考えております。  
次に「学校関連の教育普及事業」については、令和4年度でも学校からの依頼がコロナ前の水準に戻ってきていますので、引き続き依頼があれば対応してまいります。  
次に「地域連携の教育普及事業」については、大町公園にホタルが生息しており、観賞ができます。しかし、私の見立てだと、あと10年で滅びるだろうと考えております。そうしないためには、生物専門の私ができることをやりつつ、関係部署の働きかけに取り組みたいと思っているところで

ございます。

なお、「展示事業」「市民向けの教育普及事業」「運営事業」については、例年通りになっております。自然博物館の主な事業計画は以上となります。

白井委員長： ありがとうございます。

3館の事業計画について説明がありました。

これに対して何か意見がありましたらお願いします。

松田委員： 3点質問及び感想を述べさせていただきます。

1点目は、考古博物館と歴史博物館が市民向けの教育普及事業で行っている博物館コンサートないしはナイトミュージアムというものが8月26日に予定されております。各館ごとに表記が違っていますが、これは呼び方を変えているということだと理解しましたが、どのようなコンサートなのかお聞きしたいと思います。

2点目は、歴史博物館40周年記念の企画展は面白いテーマだと思います。自分たちの活動を振り返って展示するという試みは地域の人たちにとってこの館がどういう存在であるのかということ、改めて知らしめるという意味でもこういった振り返りをやるというのは良い印象を受けました。

3点目は、自然博物館の収蔵資料のデータベース化についてですが、どのようにして今後、作業を行っていくのか教えてください。

館長： 最初の質問にお答えいたします。2点目はご評価いただきありがとうございます。

1点目ですが、まず考古博物館及び歴史博物館の表記が統一されていないのはご指摘のとおりでございます。

基本的にはナイトミュージアム、括弧コンサートを含むというふうにご理解いただければと思います。

このコンサートですが、コロナ前の令和元年度に1回行っております。夏休み期間中の午後4時半に閉館し、再度、午後6時半に開館しまして、いろいろな出し物及び展示を行い、その中でコンサートにおいては、演奏者に来ていただいて考古博物館のクジラの標本の下のエントランスで演奏していただき、2階の通路まで溢れんばかりの大盛況でありました。夏休みの夕方は来館される方々の中に祖父母、親子と3世代にわたっていらっしゃる状況も見受けられるため、こういった方々がコンサートを聴きに来て、合わせて館内を見学するというところで、非常にやって良かった

たと思っております。それが、コロナ禍によりできない状況になりましたが、来年度はコロナも終息に向かっていくことから、ナイトミュージアムの再開を考えております。

金子学芸員 : 3点目の質問に対してお答えいたします。  
収蔵資料のデータベース化についてですが、OSが替わるとソフトウェアの動作に不具合が生じるため、また、ソフトウェアは、学芸員自身においてプログラム管理が必要不可欠なこともあり、セキュリティ面も考慮して一般公開する時に使いやすいエクセルデータにします。エクセルデータをたくさん作成して、そのままWebサイト貼り付けて自由にダウンロードしていただくことを考えております。また、何年かごとにそのデータ自体を更新していく予定です。  
エクセルデータを使う唯一の欠点は、原本に触れてしまうため、学芸員は操作を誤って消さないことが重要です。

松田委員 : ありがとうございます。  
ナイトミュージアムの試みはとても良いと思います。  
再度、どういう音楽のジャンルのものを、どなたが演奏されるのかということを追加でお聞きしたいと思います。  
自然博物館におきましては、低予算でしかも確実にデータ共有ということでエクセルデータが適切だと印象を受けました。

館長 : まず、楽器としてはバイオリンとフルートでございます。  
本市の文化振興財団にお願いをしまして人選しております。

田邊委員 : 自然博物館のデータベースの管理について登録項目はどのようなものですか。

金子学芸員 : 本当にシンプルな情報です。標本であれば、生物名・採取地・採取年月日・若干のメモ書きが付くというような、必要最小限の情報だけにしております。  
動画に関しては、いつ・どこで撮った・何の動画なのか記載しています。

福岡委員 : 歴史博物館の企画展「開館40周年記念企画展 みなさまと歩んだ博物館」の開催場所はこちらの館でなさるといっていいのでしょうか。  
学芸員の負担を承知で申しあげます。

市役所本庁舎のファンクションルームを活用して、企画展の一部パネルなどを展示してはどうでしょうか。

博物館を広めるいい機会になればと思います提案します。

館長 : 企画展の場所としては、歴史博物館の特別展示室で開催させていただきます。提案いただいた件ですが、確かに、学芸員の負担になる部分もありますが、前向きに検討させていただきたいと思います。

白井委員長 : ご意見、ご質問が出つくしたようですので、次に考古博物館企画展「遺伝子からみた古代のイヌ」を見学したいと思います。

#### 【山路学芸員が企画展「遺伝子からみた古代のイヌ」について説明】

白井委員長 : それでは協議会を再開したいと思います。  
その他について事務局よりお願いします。

小川主査 : 次回の協議会の日程ですけれども、令和5年8月ごろを予定しております。また皆様には通知等が届きますのでよろしく願いいたします。

堀主幹 : 次期委員の改定についてです。  
今期の任期は皆さま、令和5年7月4日までとなっております。  
本協議会の出欠の確認の際、次期委員をお引き受けいただけるかの確認もさせていただきました。お引き受けいただける委員の皆さまにはこの場をお借りまして感謝申し上げます。  
お引き受けが難しいという方におかれましては、これまでの当協議会にお力添えしていただきありがとうございました。後任の人選につきましては事務局で対応させていただきますのでよろしくお願いいたします。

白井委員長 : ありがとうございます。  
それではこれもちまして、本日の日程はすべて終了させていただきます。